



有限会社 田島製作所

## エコアクション 21

# 環境経営活動レポート

2023年1月～12月の活動報告

2024年3月31日

(有)田島製作所

有限会社 田島製作所は、山形県を代表する蔵王連峰の麓、上山市新北浦工業団地に位置し、金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作を行っています。

自然環境に恵まれた当地への本社・工場移転に際しては、「省エネルギー計画書」の審査を経た建造物を構築いたしました。又、設備及び材料においても可能な限り環境負荷の少ないものを使用するように配慮しています。

日増しに地球環境の悪化が伝えられる中、次世代のためにも持続可能な環境作りを今後とも続けていきたいと思っております。

## I. 組織の概要

- ①事業所名 : 有限会社 田島製作所
- ②代表者 : 代表取締役 田島 誠一
- ③所在地 : 〒990-3100 山形県上山市新北浦 2-2
- ④TEL : 023-672-1455
- ⑤FAX : 023-672-1450
- ⑥E-mail : [tjm@pressya.com](mailto:tjm@pressya.com)
- ⑦事業の概要 : 金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作
- ⑧売上高 : 2021年売上高 449,414千円
- ⑨敷地面積 : 3,960㎡ 延べ床面積 : 2,970㎡
- ⑩従業員数 : 42人
- ⑪環境管理責任者 : 海谷 和徳
- ⑫取組の対象範囲 : 全組織 全活動

## II. 環境方針

### 環境経営方針

田島製作所は、地球に存在する企業であることを自覚し、省エネ、省資源を意識した生産活動の中で資源の有効活用と環境汚染の予防に取り組むことで高い「環境品質」と「顧客満足の向上」を図り、継続的改善を行うことにより持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量の削減を継続的に実施し、汚染の予防に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、環境保全に努めます。
3. 環境保全の目的・目標を定め、さらなる向上に努めます。
4. この環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境意識向上に努めながら生産活動を行うことで社会に貢献します。
5. この環境経営方針を広く内外に公開し、取り組み経過等を環境活動レポートで適宜公表します。

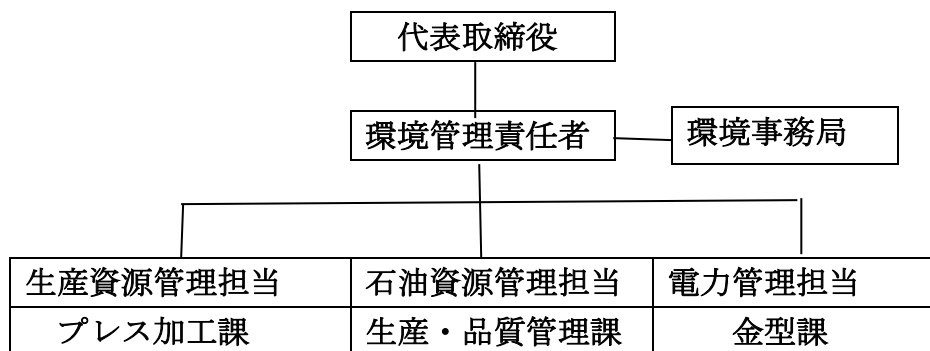
2020年1月1日(2022年3月30日 改訂)

有限会社 田島製作所

代表取締役 田島 誠一

(有)田島製作所

### Ⅲ.実施体制



※それぞれの担当課よりリーダーを選出し、実務での指揮を取ってもらう

### Ⅳ. 環境経営目標

#### ① 中長期環境経営目標

活動項目	基準年実績	2018～2023 年度目標
二酸化炭素排出量の削減	244,741Kg-CO2	基準年（2019）比 1%維持
総排水量の削減	489m3	基準年（2019）比 1%維持
廃棄物排出量の削減	11,562Kg	基準年（2017）比 1%維持
化学物質使用量の削減	224Kg	基準年（2017）比 1%維持
スクラップ（歩留率）	30.11%	基準年（2017）比 1%維持

#### ② 単年度（2023 年度）環境経営目標

活動項目	目標値
二酸化炭素排出量	242,293Kg-CO2（基準年比 1%維持）
総排水量	484m3（基準年比 1%維持）
廃棄物排出量	11,446Kg（基準年比 1%維持）
化学物質使用量	224Kg（基準年比 1%維持）
スクラップ（歩留率）	29.81%（基準年比 1%維持）

#### ③ 中長期（2024 年度～2028 年度）環境経営目標

活動項目	目標値
二酸化炭素排出量	242,293Kg-CO2（基準年比 1%維持）
総排水量	484m3（基準年比 1%維持）
廃棄物排出量	11,446Kg（基準年比 1%維持）
化学物質使用量	224Kg（基準年比 1%維持）
スクラップ（歩留率）	29.81%（基準年比 1%維持）

(有)田島製作所

## V. 環境経営計画

活動項目	責任者	取組内容	取組時期
電力使用量の削減	伊藤博樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間・週末のブレーカー遮断</li> <li>・機械エアフィルターの掃除</li> <li>・LEDへ交換</li> <li>・コンプレッサのフィルター管理</li> </ul>	年間
灯油使用量の削減	佐藤隆子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラー用灯油使用量調査</li> </ul>	年間
車両燃料使用の削減	佐藤隆子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ教育の実施</li> <li>・燃費のチェックと管理</li> </ul>	年間
水道使用量の削減	佐藤隆子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散水の禁止</li> <li>・センサー式自動水洗の流量を絞る</li> </ul>	年間
廃棄物排出量の削減	高橋主磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料搬入用木製パレットの返却再利用</li> <li>・加工油の減量化及び再利用</li> <li>・脱脂剤の長期利用の検討</li> </ul>	年間
化学物質使用料の削減	高橋主磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客先の注文に左右するため使用量を管理</li> </ul>	年間
スクラップ（歩留率）の削減	高橋主磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良製品の削減</li> <li>・端材等の利用を検討する</li> </ul>	年間

## VI. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

活動項目	目標	実績	達成率	評価
電力使用量の削減 (KW/h)	332,715	331,934	99.7% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事量が増えていることが解る。</li> <li>・肌感覚と合ってきている。</li> </ul>
灯油使用量の削減 (L)	9,470	8,400	88.7% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱脂作業の要求が増えている。ロット数は減っているが、工数が増えている。</li> </ul>
車両燃料使用の削減 (L)	12,229	8,902	72.8% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響により、お客様へ出向く機会が減った結果と思われる。</li> </ul>
廃棄物排出量の削減 (Kg)	11,446	7,428	64.9% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売り上げの減少から、仕入れ材の量がかなり減った結果と思われる。</li> </ul>
総排水量の削減 (m3)	484	553	114.2% 未達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水漏れは発生していない。脱脂作業の増加が要因と思われる。</li> </ul>
スクラップ（歩留率） (%)	29.81	36.32	121.8% 未達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量は増えたが、忙しさに合わせ材料の切れ端の使用が疎かになった。</li> </ul>
化学物質使用料の削減	224	64	28.6% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量が激減している。</li> </ul>
二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO2) (電力、灯油、車両燃料の使用合計で換算)	242,293	206,497	85.2% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売り上げは拡大したがそのままCO2の削減につながっている。</li> </ul>

\*購入電力の排出係数は、2023年1～3月は東北電力ネットワーク0.496（2023年度係数）を使用しています。2023年4～12月はグリムスパワー0.492（2023年度係数）を使用しています。（電力の購入先について）

(有)田島製作所

て、2019年2月から再生可能エネルギーが加わったウエスト電力に切り替えましたが、ウエスト電力の供給停止のため一時的に2022年5月から東北電力ネットワーク（株）に切り替え、2023年5月から現在のグリムスパワーに切り替えました。実績を目標と比較するには基準年と同じ排出係数を用いるところですが、基準年と購入電力先が違っていることから、2023年の購入先の排出係数を使用しました。）

#### 太陽光発電による売電実績

太陽光発電実績	23年01月	22年2月	22年03月	20年04月	20年05月	20年06月
売電実績kwh	1,373	4,980	9,047	9,504	8,069	9,681
	20年07月	20年08月	20年09月	20年10月	20年11月	20年12月
売電実績kwh	10,200	10,208	7,383	6,458	4,502	3,251
合計					84,656	kwh
合計金額					1,956,011	円

太陽光発電により、CO2の削減につながればと思い、導入しましたが、環境負荷の管理表には、2017年度版のガイドラインでも対象にはなりません。リース代とトントンなのがせめてもの救いです。また、毎年生産量と生産額の変化が大きいため、エコアクション活動の成果が見えない。

昨年より指標にした一番大切なCO2排出量を売上で割ってみた数値は下記の通りである。

	売上(万円)	CO2排出量	CO2/売上
2020年	529,779	182,924	0.35
2021年	449,414	175,423	0.39
2022年	389,482	174,431	0.45
2023年	540,739	206,497	0.38

コロナは収束に向かっているが、経済が流れ出し物価高になってきている。上の数値を見ると、工場の稼働はよさそうだ。

#### ◎環境負荷の推移

環境負荷項目	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	175,423	174,431	206,497
廃棄物排出量 (Kg)	7,475	4,644	7,248
総排水量 (m3)	583	496	553

#### ◎次年度の取り組み内容

具体的な2024年度の環境経営計画は2023年度と同じです。

## Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2023年12月26日 海谷環境管理責任者がチェック表に基づき遵守状況をチェックして問題がないことを確認しました。当社は、農村地帯に立地する事業所として今後とも排出水の水管理、浄化対策を徹底して行い、地域に決して迷惑をかけないように努力いたします。よって当社は、環境法規等の違反、訴訟はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

◎当社に該当する主な環境関連法規

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	浄化槽法
騒音規制法	振動規制法
化学物質排出把握促進法	消防法

## Ⅷ. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し会議実施日：2024年1月12日（金）

会議参加者：田島社長、海谷環境管理責任者、事務局田島拓弥 環境リーダー3名

### ・報告事項

- ③ 環境目標達成状況      ②環境活動計画の実施運用結果
- ③環境関連法規等の遵守状況      ④苦情・要望の有無

### ・社長からの評価コメントと指示事項

- ① 材料をはじめいろいろな物が値上がりしている。売り上げ単価はなかなか追いつかない。材料の歩留まりを上げる工夫などを取り入れてほしい。
- ② 当社の環境経営目標に CO2 排出量を売り上げで割ったものがある。来年度は 0.4 を上回らないよう注視していく
- ③2024 度の環境経営目標及び環境経営計画は今年度の内容で進める。
- ④2024 度の実施体制は今年度の体制のまま進める
- ⑤環境経営方針は変更しない。